

円谷プロ

ウルトラマンの身売り

ウルトラマンシリーズで有名なテレビ番組や劇場用映画の製作会社である円谷プロダクション（円谷プロ）。「特撮の神様」と呼ばれた円谷英二氏が創業。

円谷プロは創業当時、英二氏の出身会社である東宝との結びつきが強く、東宝の出資を受けて法人化。円谷プロは東宝の子会社となった。

その後、ウルトラマンが大ヒット。

3代目円谷皐氏（英二氏の二男）がオーナーとして円谷プロの経営にあたった。

円谷一夫氏が4代目社長を継いだ。その後、円谷家で経営権を巡ってお家騒動が勃発。その一方、ウルトラマンという圧倒的なコンテンツのロイヤルティを当てにして製作費がかさみ、放漫経営が続いて、円谷プロは慢性的な赤字となっていた。

円谷一族の追放に

ウルトラマンは何を思っているのか？

2007年10月、円谷プロは作品の製作費がかさみ、約30億円にまで膨らんだ有利子負債が重荷となったため、映像制作会社大手のティー・ワイ・オー（TYO）から出資を仰ぎ、経営を立て直すことになった。

円谷プロ株の45・5%を持ち、円谷家が筆頭株主である円谷エンタープライズが、TYOを引受先とする第三者割当増資を実施。TYOは約8000万円を出資し、円谷エンタープライズ株の80%を取得する。

また、一夫会長兼社長が、自身の持つ円谷

◆ 円谷プロは TYO の出資を受け入れたが…

